

# 分苑たより

## なごみ

大本  
名古屋分苑

### 分苑長

#### 皐月 月次祭挨拶

今日は皐月さつきの月次祭にご参拝いただき、誠に有難うございます。

緊急事態宣言発出中のなか、機関代表者のみの参拝となり、多くの皆様にお会いできない状況が続いておりますが、名古屋分苑は全ての信徒様と、お互いに心ではしっかりとつながっていると思わせていただいております。

この度のみろく大祭で、教主さまは来苑される信徒の皆様、笑顔を見ながら、皆様に会えることを心待ちに、心から願っておられることが痛切に伝わって参りました。

そして、祭典後の特別奉納「全国愛善歌オンライン奉納」に、とてもうれしかったとお喜びいただきました。

教主さまは私達信徒に常に

お心をお寄せになつていただいていることを思いますとき、大変有難く感謝に堪えません。そして、私達の教主さまをお慕いする思いをわかっていただいております。このようなことを、本当に幸せだとつくづく感じます。

教主さまは「平成十三年、初めての瑞生大祭のごあいさつで、『大本がよくなれば、世界がよくなる』という奇しびなみはかりをいただいているお道の、尊い使命のもとに、良き型が出せるよう、老いも若きも心ひとつに、ともに力をあわせて誠実で、うそのない、謙虚に、和やかに、秩序と思いやりのある明るい教団をめざして、ともに進んでまいります」と存じます。二十年前のそのときの思いは今も全く変わらず、本部も地方機関も人を大切に敬い、慈

しみながらお互いに協力し、神さまを中心に和合の梅の姿にならせていただけるようにと心から願っております。」そして又、「自分の周辺に天国をつくるのも、地獄をつくるのも、一人一人の心の持ち方次第であるということをお教えたいただいております。物事に執着し、私利私欲によって争い、妬みや嫉みで人を傷つけ、自分自身の身魂を自ら曇らすことのないよう、常に心を広く、大きく、豊かに持ち、感謝に満ちた温かい気持ちでお互いに協力し、お互いに協力し、身魂を磨き合共にもろく分苑、地上天国の住人とならせていただきたいと願っております。



#### ● 尊師さまのお歌に

こころよく 犠牲になりて恨みざる 人こそ神の生まれ代わりぞ  
人にゆるく 吾にきびしくあるなれば この世の中は平和なるべし  
とあります。

大本信徒としては、穏やかで、慎み深く、思いやりのある優しい人でありたいと思えます。そして、素直で、心が清らかで、自分に厳しく、人には優しく、自己犠牲の心をもち、自己反省を強く、身魂磨きに努め、悠々と人生を送りたいものです。

本日は、ご参拝有難うございました。

### 行事報告

#### ● みろく大祭遥拝祭

五月五日（水）

参拝者 七名

齋主 小林 清人

祭員 高嶋 善雄

#### ● 月始祭

五月一日（土）

参拝者 十四名

齋主 石原 松生

祭員 伊藤 久仁男

進行 青山 将士

裏方 天野 芳幸

祭典終了後、妹尾特任

によるミニ講話「環境と

微生物（土壌微生物）」を

受講した。



● 月次祭

五月十六（日）

参拝者十九名

斎主 高嶋 善雄

祭員 伊藤久仁男

祭員 島山 茂

伶人 飯田 直美

進行 妹尾 正治

祭典終了後、月始祭に  
続き「ダンボールコンポ  
ストで堆肥を作るう」の  
ビデオを視聴した。



● 草引き献劳作業

担当 半田支部、分直

神ノ倉分所

妹尾正治さんの参加

もいただき、五月二日

（日）海津市の松植

樹地で、朝九時半か

ら約三時間、草引き

作業を行った。

高台のヨシの根

の撤去、低所・斜面

の草刈り機による

草刈り、及び低所の

松の苗周辺の草引

きを行った。皆で懸

命に作業を行い予

定の範囲を完了す

ることができた。

次回は六月の予定

で、新たに芽が出てきた

ヨシの根の撤去、松の苗

周辺の草の根の撤去、そ

れ以外の場所の草刈、枯

草の焼却炉での焼却等

の作業をお願い致しま

す。

植樹した松は順調に育

っており、今後の成長が

期待される。

参加者六人

妹尾正治 森悦子

石原松生 関原教善

山田美智子 山田謙三

山田謙三 報



☆行事予定

六月二十日（日）

月次祭

午前十時半より

総代会

午後十二時半より

七月三日（土）

月始祭

午後一時半より

環境問題を考える その①

特任宣伝使 妹尾 正治

最近、名古屋分苑の祭典後の時間を頂き環境について（土壌と微生物）のミニ講話をさせて頂きました。

お話しさせて頂くからには自ら実践を！と「生ごみイーター」の容器を利用して堆肥作りを始めました。家庭菜園も始めていますので、収穫が終わったエンドウのツルなどの処理に困り200リットルの生ごみ処理槽を購入し、庭の片隅に設置して堆肥作りもしています。

余談になりますが、生まれて初めて家庭菜園で出来た有機肥料無農薬栽培のスナップエンドウと、さやエンドウを分苑の大神様にお供えさせて頂きました、お土産への感謝と喜びでいっぱいです。

現在家庭から出される可燃ごみの2/3割が生ごみだと云われています、生ごみは燃焼しにくく焼却には膨大なエネルギーを使いCO2の排出で環境破壊に繋がっています。

地域の市町村では、段ボールコンポストとか、生ごみ処理槽への補助金制度で環境保護を奨励しています、私が購入した生ごみ処理槽は五千四百八十円でしたが、愛西市から四千円の補助が出ました。

全ての人が堆肥作りが出来る環境では無いと思います、生ごみをそのまま可燃物で出すのではなく、面倒ですが半日乾燥させてから出すだけでもCO2の削減になる事を考えて頂きたいと思っています。

※お話し頂ければ、お土産のお話し、堆肥・微生物のお話し、発行書籍のお話しなどをシリーズで続けさせて頂きたいと思